

# 広報 なぎじん

No. 131

1986年10月

村章

(毎月1日発行)



## 珊瑚礁の干瀬

海には、様々なものが混然一体となって同居している。そこには、山があり、川が流れ、草が生え、木々の林立がある。

干潮時のリーフには、若々しい木の芽のような珊瑚の成長を見ていると、春の若草に似た生命のいぶきが感じられる。

今帰仁村の人口 昭和61年8月31日現在( )内は前月比



- 今月の主な内容
- 二・三 住民の期待を背に  
議員二十人が誕生・十人が新人  
高い投票率九五・〇九%
  - 四・五 昭和六十年年度・決算統計から  
目的別経費のなかの財源内訳  
(歳出のなかの歳入)  
庁舎案内
  - 六 役場の各課の配置が変わりました。  
社会貢献に感謝
  - 七 健康と長寿を願う  
自慢の牛・豚
  - 八 九十四頭がそろろう
  - 九 第十六回今帰仁村畜産共進会  
村少年の主張・小学校の部優秀賞  
「ちびと言われて」  
納め忘れはありませんか  
国民年金保険料  
ありがとうございます。
  - 十 村育英会・村社会福祉協議会  
多くの善意が集まりました。
  - 十一

### 投票場別投票数及び投票率

投票区	男女	有権者数	投票者数	棄権者	投票率
第1投票区	男	1,156	1,093	63	94.55
	女	1,150	1,096	54	95.30
	計	2,306	2,189	117	92.28
第2投票区	男	805	752	53	93.42
	女	854	838	16	98.10
	計	1,659	1,590	69	95.84
第3投票区	男	669	634	35	94.77
	女	713	685	28	96.07
	計	1,382	1,319	63	95.44
第4投票区	男	491	464	27	94.50
	女	469	448	21	95.52
	計	960	912	48	95.00
第5投票区	男	162	144	18	88.89
	女	152	142	10	93.42
	計	314	286	28	91.08
計	男	3,283	3,087	196	94.03
	女	3,338	3,209	129	96.14
	計	6,621	6,296	325	95.09

### 今帰仁村議会議員得票数

氏名	所属	字名	得票数
嘉陽宗敬	無・新	湧川	344.692
与那嶺吉正	無・新	渡喜仁	326.138
松本光弘	無・現	仲宗根	322.000
山城辰雄	無・現	仲尾次	302.022
沢岷安博	無・現	湧川	294
照屋晃	無・新	渡喜仁	293
宮城康吉	無・新	天底	289
山城正	無・現	諸志	288.976
島袋輝志雄	無・現	諸志	285
与那嶺幸人	無・現	崎山	283.861
喜屋武治樹	共・現	仲尾次	282
上里朝栄	無・現	玉城	274
上地完衛	無・新	仲宗根	268
嘉陽宗一	無・元	呉我山	266.306
島田清仁	無・新	与那嶺	265
石嶺光敏	無・新	平敷	262
運天政徹	無・新	運天	258
国吉宗定	無・新	謝名	254
座間味栄立	無・新	上運	239
新城元一	無・現	今泊	236
仲原正春	無・新	今泊	222
喜納智	無・現	古宇	218
大城幸治	無・新	今泊	190

投票総数 6,296  
有効票数 6,263  
無効票数 33



上里朝栄(66)  
玉城302



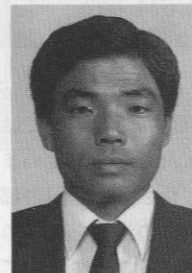
喜屋武治樹(35)  
仲尾次92



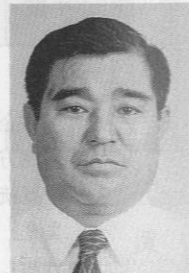
嘉陽宗一(61)  
呉我山10



上地完衛(49)  
仲宗根309



石嶺光敏(33)  
平敷1274



島田清仁(63)  
与那嶺45



国吉宗定(55)  
謝名125



運天政徹(47)  
運天1201



新城元一(60)  
今泊115



座間味栄立(38)  
上運天1269

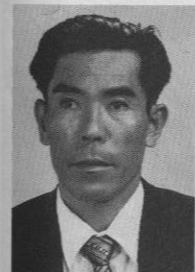
# 今帰仁村議会議員選挙執行 住民の期待を背に 議員20人が誕生。10人が新人 高い投票率95.09%



与那嶺吉正(48)  
渡喜仁257



嘉陽宗敬(38)  
湧川1771



山城辰雄(57)  
仲尾次70



松本光弘(57)  
仲宗根212-2



宮城康吉(43)  
天底511



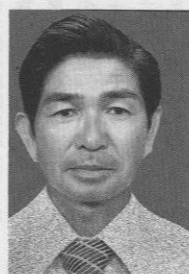
照屋晃(48)  
渡喜仁259



沢岷安博(53)  
湧川78



与那嶺幸人(39)  
崎山255



島袋輝志雄(53)  
諸志171

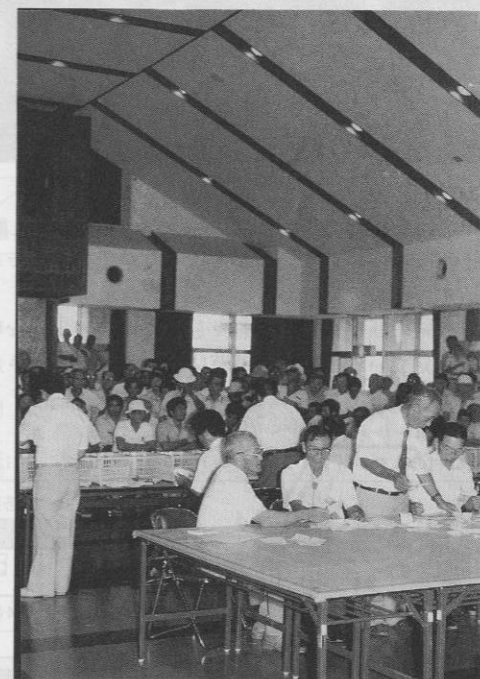


山城正(48)  
諸志449

任期満了に伴って執行された今帰仁村議会議員選挙は、九月二日に告示され、七日投票、翌八日に開票されました。二十の議席に対し、現職十人、新人十二人、元一人の二十三人が立候補するという少数激戦の結果、

現職九人、元一人、新人十人の議員が誕生しました。投票率は、九五・〇九%と前回(昭和五七年九月十九日執行。九四・九一%)よりわずかに上まわりました。

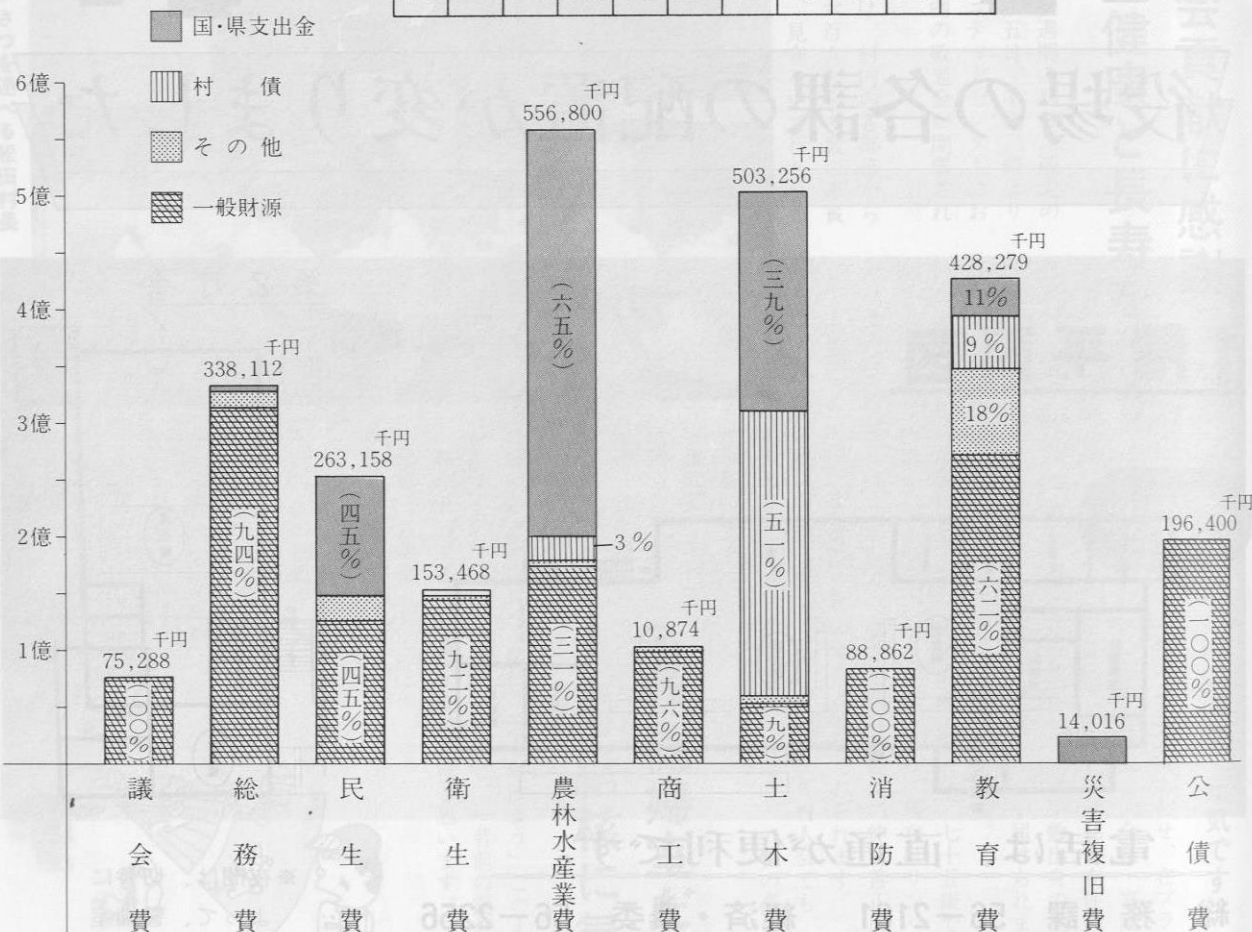
村議会議員選挙は、住民に最も身近な選挙とあって、地域での関心の深い選挙だけに、高い投票率を記録しました。当選した二十名の方々には向こう四年間、住民の信託を受けて、今帰仁村と地域の発展のために、住民の代表として、活躍することになります。



支持者の注目の中で進められた開票事務

昭和60年度

目的別歳出額と財源内訳



**〔議会・総務・公債費〕**  
この項目には、国県支出金、村債等の特定財源が少ないことに注目していただきたいと思えます。ここには補助事業として執行できる事業が少なく、そのほとんどが一般財源でまかなわれることがよく分ります。

**〔民生費〕**  
民生費のなかには、老人福祉費、児童福祉費、社会福祉費等が計上され、四五%にのぼる国県支出金の大部分は、保育所児童に係る児童措置費に占られています。

**〔衛生費〕**  
国や県の行財政改革の波が強まる中、特定財源の占める割合が高いだけに、影響を強く受ける項目の一つとして憂慮されております。

**〔農林水産・商工費〕**  
農林水産業費は、本村の決算額の二二%を占める高い比率となっている。ここには、農業、畜産、農地、林業、水産業等の第一次産業とよばれる産業に係る費用が計上され、六五%にもなる国県支出金は、農村総合整備モデル事業をはじめ、古宇利農道整備、林業振興特別対策事業、玉城林道舗装、古宇利漁港建設事業等、数々の事業を完成したものです。

**〔土木費・消防費〕**  
土木費のなかで、特に目立つのが国県支出金と、村債を合せて九〇%にのぼる特定財源だと思えます。

**〔教育費〕**  
これは、湧川線改良、中央線舗装、勢理客線改良、村営住宅建設等のほか、呉我山天底線、諸志線改良、湧川手々原線、兼次今泊線などの過疎地域振興計画に基づく事業の執行に伴う特定財源です。また消防は、消防組合の負担金が主なものです。

**〔衛生費〕**  
衛生費は、住民の健康管理と環境管理とを主な目的として計上されております。

**〔農林水産・商工費〕**  
隣接の本部町との間で設置された、清掃組合の負担金七千万円もここに計上されます。

**〔教育費〕**  
この費目は、学校教育、社会教育、保険体育等、様々な費目が計上されている。

**〔民生費〕**  
財源内訳に示す「その他」は小中学校費に係る学校給食費の保護者負担金が主なものです。

昭和60年度決算統計から  
目的別経費のなかの財源内訳

(歳出のなかの歳入)

最近3ヶ年間の決算額の推移

区分 年度	対前年度増減額		対前年度増減額		対前年度増減額	
	歳入総額	%	歳出総額	%	歳入歳出差引	%
昭和60年度	2,657,197	△4	2,628,513	△4	28,684	△22
昭和59年度	2,779,725	8	2,742,976	8	36,749	△15
昭和58年度	2,574,022	4	2,530,974	4	43,048	9

村企画財政課(財政係)では、昭和60年度の地方財政状況調査をまとめました。これは決算統計とも称され、全国の都道府県はもとより、市区町村の決算を同一の基準によって分析し、対比することによって、後年の財政運営の指標にするために行われるものです。

それによりますと、昭和60年度の決算は、歳入歳出ともに前年度より4%の減少をみせている。また歳入歳出差引額(形式収支)では22%の減少となっています。

このことは、来年度に行なわれる国体や、今年行なわれた全日本実業団ホッケー大会をめざし、施工された村民運動場や、村民福祉の拠点として完成された、村コミュニティセンター、村民のニーズに応えた村営住宅の工事等の完了に伴う事業費の減少と、それに伴う国庫補助金等の特定財源の減少がその要因のひとつになっている。

「特定財源」一般的に耳なれない用語であると思えます。村の財政のたくさんの収入の中には、使用目的が限定された収入を総括して特定財源と呼んでいる。

これに対し、使われる目的が限定されない財源、これを一般財源としている。

前記のように、特定目的のために使うことを限定された財源は、単にその財源だけで執

行できる事業は皆無であり、補助事業、起債事業(村単独)等の負担できない部分に一般財源を接ぎたして事業が執行されることになる。

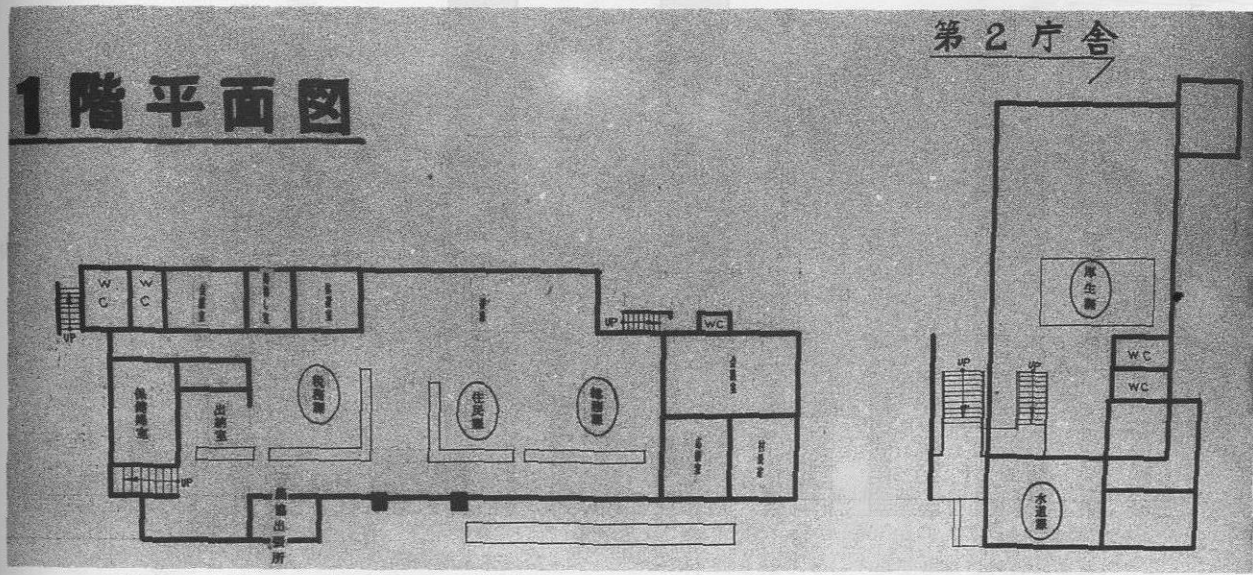
以上のように、市町村で行なう事業については、計画する事業ごとに国県への事業説明を行い、補助を受け、起債を起し多くの道路、基盤整備、村道の開設、漁港整備、校舎建設等を行なっている訳です。

そこで今回は、村の執行する予算の中で一般財源及び特定財源が、どのような所でどのように使われているかを、グラフで示し、それに、説明を加えていきたいと思えます。



# 庁舎案内

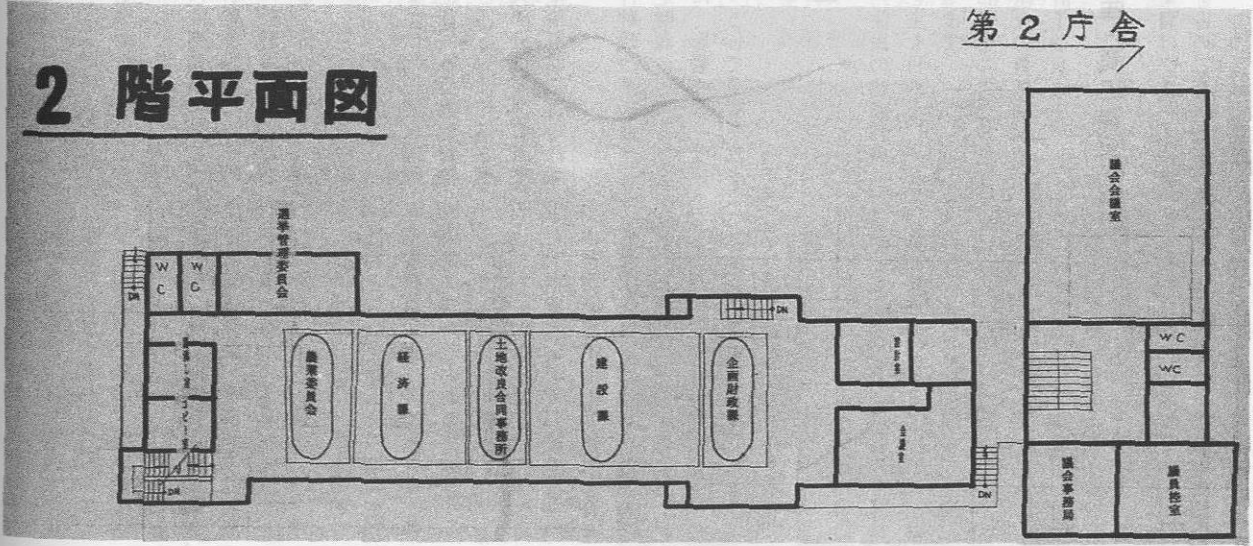
## 役場の各課の配置が変りました



電話は、直通が便利です。

総務課	56-2101	経済・農委	56-2256
住民課	56-2102	厚生課	56-4397
税務・出納	56-2105	水道・議会	56-4398
企画・建設	56-2255		

※夜間は、切替によって、警備室につながります。



### 社会貢献に感謝 健康と長寿を願う

老人福祉週間の初日(敬老の日)九月十五日、午後二時より村コミュニティセンターにおいて、恒例の敬老会が開催されました。

会場には、村内の各部落からお年寄約六百人と、多数の来賓が参加し、見守る中で行われま

した。

主催者を代表して松田村長は長年村の発展に寄与していただいた方々に「村の基礎は皆さんがきずいてこられました。皆さんはそのことを誇りにして下さい」と感謝の意を述べました。

また玉城千喜村議会議長、宮城庄八郎北部福祉事務所所長、宮里武英、北部老連会長、吉田光正、我喜屋宗重の両県議会議員からそれぞれお祝いのことばがありました。

その中、天底小学校、六年生の豊里誠君は、「お老寄は、いろいろな事を知っています。ぼくたちこれから教えて下さい」と感謝のことばを述べていました。

### 敬老会



あいさつを述べる松田村長

### 保健婦室だより 結核に気を付けよう

一〇四歳・元気です

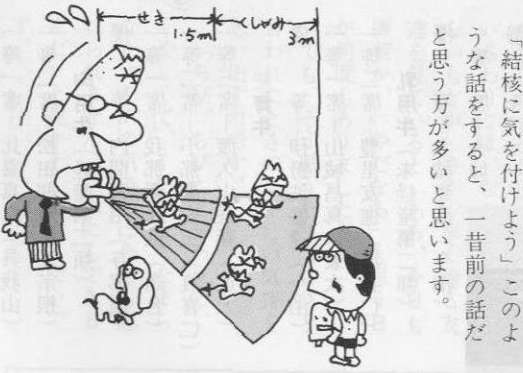
村の敬老会にあわせ、在ブラジル今帰仁村人会(会長・嘉陽宗信氏)より、ブラジル在住の高令者として、宇平敷出身の島袋カナさんの写真が届けられましたので紹介します。

島袋カナさんは、七十五歳で南米の地に渡り、現在はサンパウロ州にお孫さんの仲村善正氏の家族と暮しておられます。

また、ブラジル村人会でも、日本人移住者では、一番の高令者であることを誇りにし今回、写真を寄せられたものです。



写真が島袋カナさん(ブラジル) (一〇四才) 平敷出身



「結核に気を付けよう」このような話をすると、一昔前の話だと思ふ方が多いと思ひます。

実は、今なお村内でも、発見されている病気のなのです。

今帰仁村では、昭和六十年から昭和六一年九月にかけて、発病した患者が十一人もいます。

そのうち、十人が入院の必要があります。年令別にみると、30歳〜39歳一人、40歳〜64歳六人、65歳以上四人となつています。

この発見された患者のほとんどが、住民検診の未受診者で、咳、たん、微熱の持続等、結核特有の症状が出てから、病院で受診をしています。

早期発見、早期治療のためにも、家族、隣近所さそいあつて年一回の住民検診は、必ず受けてほしいものです。

では、結核はどのような病気でしょうか。

結核は、結核菌によって、人から人へとつる伝染病です。菌を出している患者が、咳やくしゃみをしたときに、たぐさんの菌をしぶきとともに飛び散らし、それを吸い込むことによつて感染するのが大半です。

しかし、必ずしも発病することとは少なく、体力の低下等、体の防御力が菌の繁殖を抑えきれない時に病気になるります。

日頃から、体力をつけ、病気になるらないようにするとともに年一回の住民検診で、健康チェックを心掛けたいものです。

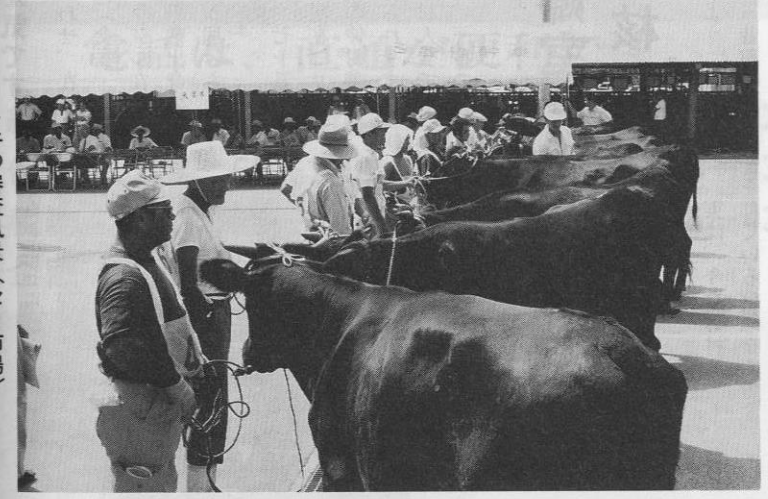
# 自慢の牛・豚 九四頭がそろろう

## 第16回 今帰仁村畜産共進会

村役場と農協の共催による第十六回今帰仁村畜産共進会が、九月四日午前九時半より村家畜セリ市場で行われました。

これは、村畜産の振興と優良家畜の育成を期して行われるもので、北部振興会主催の共進会への派遣審査も兼ねている。当日は、大勢の畜産農家の見守る中、北部家畜保健所職員らによって、厳重な審査が行われました。

- 一等一席 比喜真松(呉我山)
- 二等一席 松田則明(仲宗根)
- 肉用牛(経産第二類)
  - 優 等一内間真昭(与那嶺)
  - 一等一席 我那覇隆儀(謝名)
  - 二等一席 小那覇安伝(渡喜仁)
  - 三等一席 渡久山盛春(連天)
- 肥育牛
  - 優 等一伊野波盛達(今泊)
  - 一等一席 山城昌真(兼次)
  - 二等一席 豊里友進(渡喜仁)
- 乳用牛(未経産第二類)
  - 優 等一 大城克彦(今泊)
- 静治(今泊)
  - 種豚(未経産第一類)
    - 優 等一 仲本
  - 種豚(未経産第二類)
    - 優 等一 仲木
    - 信子(崎山)
    - 一等一席 田港
    - 朝明(湧川)
    - 一等二席 仲本
    - 達美(崎山)
  - 種豚(経産第一・第二類)
    - 優 等一 喜屋
- 武勇(渡喜仁)
- 一等一席 具志忠二郎(渡喜仁)
- 種豚(経産第三類)
  - 優 等一 仲本達美(崎山)
  - 一等一席 大城義雄(崎山)
  - 種豚(若令第一類)
    - 優 等一 仲本達美(崎山)
  - 種豚(若令第一類)
    - 優 等一 仲本達也(崎山)
    - 一等一席 仲本 薫(崎山)
    - 二等一席 具志忠二郎(渡喜仁)
  - 種豚(壮令第一類)
    - 優 等一 仲本達美(崎山)
    - 一等一席 喜屋武勇(渡喜仁)



▲牛の審査風景(セリ市場)



予約受付中

沖縄県統計協会では、県民の皆様様に親しまれている県民手帳(62年版)を発行いたします。この県民手帳は、沖縄県および県内市町村、各都道府県のすがたを数字によって表わし、また、日常生活に役立つ最新の資料や知識も収録してあるのが特徴です。

会社、学校、市町村等で広く愛用されていますので、早めに御申込み下さい。

○大判ビニールコード表紙差し込み(85mm×140mm)、三〇八ページ六百円。

○ポケット判ビニールコード表紙差し込み(67mm×110mm)三〇八ページ二百六十円。

○予約申込締切り十一月月上旬

申込みは県統計協会(那覇市泉崎二一三二(明治泉崎ビル))県統計課内電六六一二〇五〇。または、村役場企画財政課、統計係電五六一一二五五へどうぞ。



### 第四回少年の主張大会・小学校の部優秀賞 ちびと言われて

天底小学校五年 岸本幸江

「こんな私でも、トランペットをじょうずにふけるかな。」と毎日が心配で心配でたまりませんでした。

そんなある日、担任の先生が私の心をさっしたかのように、「幸江さん、つらいことや、むずかしいことがあっても、最後までいっしょうけんめいがんばれば、どんなことでもできるんだよ、体が小さいことなんか、気にすることはないんだよ。」と、言ってはげましてくださいました。私は、その言葉を聞いて、「できるかもしれない」と少しばかりの希望がわいてきました。その日から私は、バンド練習をいっしょうけんめいしました。しかし、練習はともきついでした。

ふっきん五十回、腹式こきゅう、持久走バズイングなどです。また、マウスピースを口にあって長い時間練習をすると、口びるに輪ができて、まっかになり、しびれて、かんかくがなす。

わかちあう幸せ

赤い羽根共同募金  
10月1日~12月31日

毎日そう思い続けて、いっしょうけんめい歯をくいしばって練習を続けていきました。

そのため、一日、一日と音もよくなり、少しづつ高い音も出せるようになりました。

そして、初めて一つの曲がじょうずにふけたとき、「やった」天にも登るような気持ちでした。そのときのうれしさは、今でも忘れられません。

苦勞して、やっと何かができるようになった喜びは、とってすばらしいことだと思えます。

今は、いやいやながらやってきたバンドの練習がいつのまにか、楽しい練習にとかわっています。

練習はともきついで、一日、一日の積み重ねがとて大切で、楽しいことなんだなあと、思います。

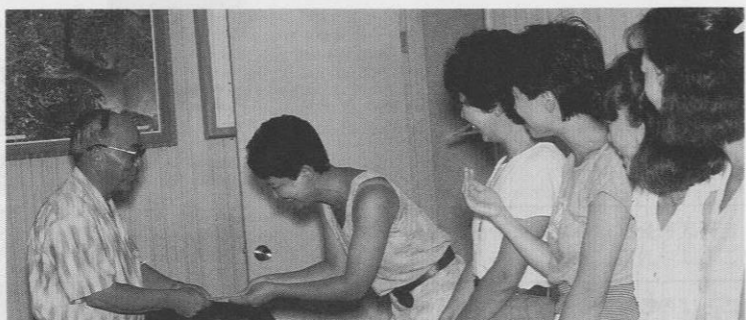
「ちび」と言われた私でしたが、何でも最後までいっしょうけんめいがんばれば、どんなことでもできるんだよ。体が小さいことなんか、気にすることはないんだよ。」と言った言葉を思い出して、一生、そのことを実行していきたいと思えます。



東京在住の劇団「あめんぼ座」(代表者―齋藤友子さん)は、村コミュニティセンターで、「岩牢の中の六人の后たち」のチャリティー公演を行い、その収益金から十五万六千三百円を村社協に寄附しました。

尚「あめんぼ座」一行八人の中には、宇仲宗根二五〇一、金城隆子さんも参加しております。

### 村社会福祉協議会へ



○東京で児童館、子ども会を中心に活動を続けている、人形劇「たけのこ座」(代表者―竹中ゆりさん)一行五人は、村役場に松田村長を訪れ、天底公民館中央公民館での公演の収益金から一万円を村社協に寄附しました。

ありがとうございます。  
村育英会・村社会福祉協議会

多くの善意が集りました



写真は、寄附金を手渡す湧川フミさん

### 村育英会へ

●宇仲宗根三五九一二の与那森男さんは、村社協を訪れ、先頃死去された祖母与那カメさんの香典返しとして、五万円を村社協に寄附しました。

●那覇市上ノ屋四七、湧川フミさんは、役場を訪れ、先頃死去された夫善公氏の香典返しとして、五十万円を村育英会に寄附しました。

●那覇市長田二一四、玉城澄夫さんは、役場を訪れ、先頃死去された父精範氏の香典返しとして、十万円を村育英会に寄附しました。

●宇仲宗根四六七、金城秀一さんは、母マツ様の米寿の記念として、五十万円を村育英会に寄附しました。

## 納め忘れはありますか？ 国民年金保険料？

無年金者にならないために、保険料は、キチント納めよう。

保険料の納付済期間は、あなたが年金を受けるとき、年金が受けられるか、あるいは幾ら年金が受けられるか、という非常に大切な要件となります。

また保険料は、二年を過ぎますと「時効」となり、納めようと思っても、納めることができません。未納のある人は、早めに納めましょう。無年金者とは、年金のないさびしい老人の事です。あなたも、無年金者にならないために、元気で働けるうちに



保険料は、キチント納めておくことが大切です。過年度保険料に未納のある方は、「納付書」が發送されます。その納付書で、早めに納付して下さい。

掛か  
笑て納みらな  
老後のために  
いぬちづな  
命綱でむぬ

### 歴史資料館

### 設立準備室を

### 中央公民館に設置

村教育委員会では、九月一日、村中央公民館内に「歴史資料館設立準備室」を設置しました。村内には、国指定の文化財、今帰仁城跡をはじめ、各部落にはたくさん遺跡があり、多数の遺物が発掘されています。

こうした、遺物を展示、紹介することによって、村の内外に本村の歴史と文化を広めようと計画されたものです。また、歴史資料館設立準備委

員(山内昌藤委員長)の方々は、この準備室を拠点として、建設の場所、資料館内部の配置等、さまざまな角度から検討を加え、村民の利用しやすい資料館づくりを、目標にしたいと考えています。

◎写真は、準備室の看板をかかげる、山内委員長(写真右)、大城助役(中央)、大城教育長(写真左)。





10月1日  
11月1日

# 村民カレンダー



10/1 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00、コミセン) ○共同募金 (赤い羽根) 運動開始
2 木	
3 金	○ことばの教室 (9:00~17:00、コミセン)
4 土	○家庭教育講演会 (14:00~18:00、コミセン) ○健康相談 (9:00~12:00、保険婦室)
5 日	
6 月	○定例区長会 (14:00~2階会議室) ○ことばの教室 (9:00~17:00、コミセン)
7 火	○ことばの教室 (9:00~12:00、コミセン) ○体育指導員会 (19:00~中央公民館)
8 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00、コミセン)
9 木	
10 金	○体育の日 ○村陸上競技大会 (9:00~村営グラウンド)
11 土	
12 日	○四保育所合同運動会 (9:00~村営グラウンド)
13 月	○ことばの教室 (9:00~17:00、コミセン)
14 火	○ことばの教室 (9:00~12:00、コミセン) ○今中インフルエンザ予防接種
15 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00、コミセン) ○D、P、T 予防接種 (13:00~2:00、コミセン) ○リハビリ (13:00~15:00、コミセン)
16 木	

17 金	○ことばの教室 (9:00~17:00、コミセン) ○1才6ヶ月検診 (13:00~17:00、コミセン)
18 土	○健康相談 (9:00~12:00、保険婦室)
19 日	○老人婦人スポーツ大会 (9:00~村グラウンド)
20 月	○定例区長会 (14:00~2階会議室) ○ことばの教室 (9:00~17:00、コミセン) ○3才児検診 (13:00~17:00、コミセン)
21 火	○ことばの教室 (9:00~12:00、コミセン) ○湧川小中インフルエンザ予防接種
22 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00、コミセン) ○リハビリ (13:00~15:00、コミセン) ● ○今小インフルエンザ予防接種
23 木	○兼小中インフルエンザ予防接種
24 金	○ことばの教室 (9:00~17:00、コミセン)
25 土	
26 日	○国頭郡陸上競技大会 (9:00~名護市営陸上競技場)
27 月	○ことばの教室 (9:00~17:00、コミセン)
28 火	○ことばの教室 (9:00~12:00、コミセン) ○ディケア (13:00~16:00、 ) ○天小インフルエンザ予防接種
29 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00、コミセン) ○古宇利小中インフルエンザ予防接種
30 木	
31 金	○ことばの教室 (9:00~17:00、コミセン)
11/1 土	

■この木は、我が家の一番の大木であるがため「何年程の木」であるか質問を受けることがある。私はそのたびに「百年程では」と適当な返事をしてきた。

■ところが最近、此の木の正確な年令が判明した。此の木、我が家に引越して来る時にはすでに実をつけていたのだが、この木の前の主人の話を父が思い出したのである。

■と言うのは、本村の四代目の村長である、仲宗根宗助村長の当選祝いにふるまわれた弁当の中に、半個づつ入れられた、実生の木であるとのことである。

■つまり、一九二四年の生れであり、今年還暦を向えたことになる。この木、夏には木陰をつくり、九月の豊年祭の頃には、甘い、香り高い実をたくさんつけ、私たちを楽しませてくれる。



編集後記